（別紙4（2））

事業所名：グループホーム悠祐

作成日： 令和 4 年 2 月 24 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	コロナ禍において、入居者様希望の買い物支援等が行えず、職員が代行して買い物支援を行っている。可能な限り、買い物支援等、入居者様が買い物を自分で出来る様にしたい。	買い物等、外部に出られずとも行えるようにする。 行事、食レク等を増やし施設内でも満足が得られる支援を行う。	A型・B型事業所との繋がりを模索しながら、法人と話し合い可能な範囲内での支援達成を目指す。 月に1回、感染対策を行ったうえで入居者様好みの食レクを入居者様と一緒に出来る限り行う。	12ヶ月
2	35	コロナ禍にて、近隣住民を巻き込んだ避難訓練が行えず、夜間の避難訓練に対して誘導等の課題も多い。	コロナ終息時には、消防署や近隣住民・近隣の地域密着型施設と協力した避難訓練を行う。	コロナ禍にて、挨拶回りや会合等中止されており、地域との結び付きが少なかった。近隣の地域密着型施設や地域住民との繋がりを蔓延防止等重点措置等が解除になったら再度少しずつ、挨拶回りから築いていく。	12ヶ月
3					6ヶ月
4					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。